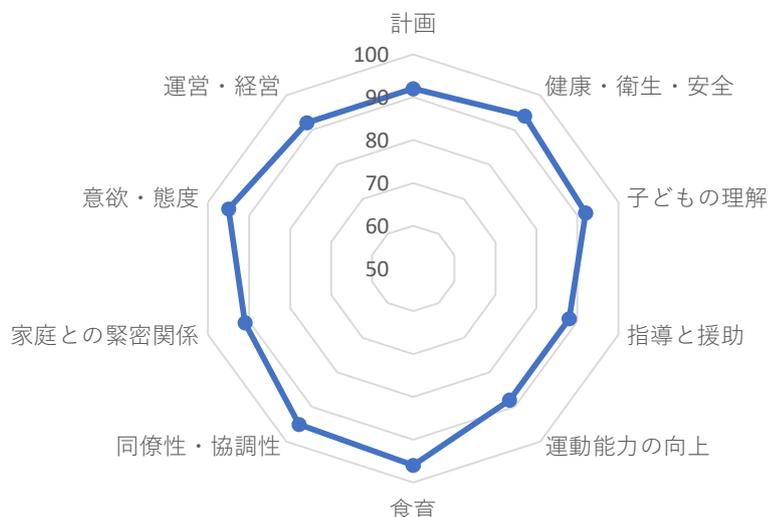


みんなのナーサリー 自己評価結果

1 園の自己評価

ア 概要



全ての項目について、園の使命を一定程度果たすことができたと認識しています。

みんなのナーサリーでは、子どもを肯定的な感情で包み、子どもの安心感を満たすこと・自発的な遊びを通し、非認知的能力を育むことを理念としています。

令和7年度は、前年に引き続き戸外活動・食育活動・運動教室・英語教室など様々な活動を通し、やる気・協調性・粘り強さなど生きていく上で必要な心の成長に寄与するとともに、身体機能の発達についても一定程度寄与できたと思います。

健康面や安全面については、実践的な研修の機会を増やし、有事の際にも適時的確に対応できるよう取り組み、特に乳児の誤嚥防止のための施策も新たに講じました。

令和8年度も園の使命を果たせるよう職員一同努めて参ります。

イ 評価できる点

- ・ 保育指針に基づいた計画を基本としながら、実情に応じた柔軟な計画を組めた。
- ・ 運動教室・外遊び・歩く機会などを通し、体を動かす機会を多く持てた。
- ・ 保育士間で意見交換をし、日々子どもたちの成長を話し合った。
- ・ 子どもの発達状況や保護者の意向を踏まえ、可能な範囲で個々に寄り添った保育をした。
- ・ 食育については、安全面に十分注意しながら、作る・育てる・食べるなどの体験活動ができた。
- ・ 日々の清掃のほか、定期的な業者清掃も行い、衛生・安全を徹底した。
- ・ 災害事故などはいつ起こるか予測できないので、いつでも対応できるように避難訓練等を定期的に行なったほか、マニュアルの確認等も定期的に行なった。
- ・ アレルギーに対しては、複数回のチェックを行うなど安全に努めた。

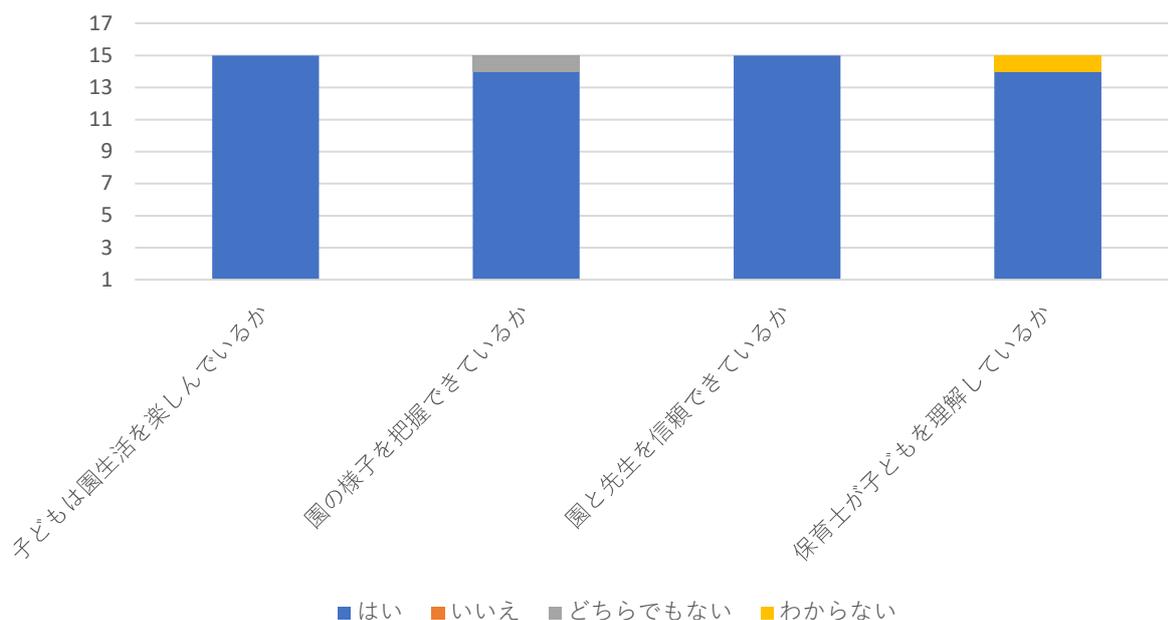
- ・ 楽しく仕事ができる環境は子どもにもよい影響になるという理念のもと、職員のシフトの考慮など働きやすさに配慮できた。

ウ 改善点・課題

- ・ 泣いている子供に寄り添うことを心掛けた一方で、主張できず言葉にできない子どもへの対応が後回しになってしまうことがあったので、子どもの小さな変化等に気づいて適切な働きかけをしたい。
- ・ 玩具の入替等は行ったものの、室内遊び・運動がマンネリ化してしまうので、遊びや運動の展開を広げる工夫、新たな遊びをさらに考えていきたい。
- ・ 年齢に応じて適切な大きさや固さで調理はされているが、一人ひとりの食べ方や速さは違うので、その都度子どもの食べ方を共有できるように意識していきたい。
- ・ 職員間でマニュアルの理解度に差があったり、隅々までは把握できていなかったりするので、マニュアルの復習を定期的に行いたい。
- ・ 様々な意見があることを理解し、互いに協力し合いながら、共通の目標達成に向けて行動し、多様性を受け入れる姿を子どもたちにも見せたい。

2 保護者アンケート

ア 概要



質問に対する回答はほとんどが「はい」であり、園と保護者との信頼関係が相当程度築けていると認識しています。

イ 評価できる点

- ・ 多くの子どもが、園生活を楽しんでいる。
- ・ 連絡帳（コドモン）や送迎時に子どもの様子を細かく伝える事が出来ている。
- ・ 保育士一人一人が、丁寧に子どもに向き合っている。
- ・ どの先生も子どものことを把握していて、先生同士の情報共有が出来ている。

- ・ 子ども一人ひとりに合わせた保育を心掛けている。

ウ 改善点・課題

- ・ 保護者からの改善点・課題はありませんでしたが、園での反省点・課題に真摯に取り組んでいこうと思います。

3 総評

～沢山愛情をかけて下さっているのがわかる。～

～どの先生も子どもの様子や表情などしっかり見てくれていると感じる～

～保育園に通うようになってからできるようになったことがたくさんあり、毎日驚いています。いつもありがとうございます。～

～十分すぎるくらい色々経験をさせていただいて感謝しています。～

などなど素晴らしいコメントの数々、ありがとうございました。

保護者の皆様には、いつもご理解・ご協力を頂き感謝しております。

ありがとうございます。

「みんなのナーサリー」は今後も職員一同、明るく！元気に！安全に！よりよい保育を行っていくことに努めたいと思います。

お忙しい中、アンケートへのご協力ありがとうございました。